

令和3年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



皆さん、おはようございます。

本日、令和3年第4回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には御出席を賜り、誠にありがとうございます。

コロナの流行「第5波」は急速に収まりをみせ、新型コロナウイルス感染者数については、全国的にも減少傾向が続いております。本市においても、10月16日以降、感染者の報告がない状況であり、市民の皆様の日頃からの感染症拡大防止に対する取り組みのおかげであると深く感謝申し上げます。今後も、第6波にそなえて気を緩めることなく、感染の再拡大防止と経済対策の両立にむけて市政を進めてまいります。

10月31日投開票の第49回衆議院総選挙の結果、自公与党が過半数を確保し岸田政権が継続されることになりました。報道等によりますと、総理が掲げる「成長と分配の好循環」の実現に向けて「新しい資本主義」の分配政策や成長戦略の多くを盛り込んだ形での切れ目のない経済対策を図るため、当初予算と一体的に「16か月予算」として予算編成にあたるということでありま

す。

これから予算編成作業も終盤を迎えることとなりますが、国の予算や施策の動向を注視し、今後の本市の各種施策へ生かすことができるよう努めてまいりたいと考えます。

それでは、議案説明に先立ちまして、策定中の計画及び第3回定例会以降に開催された主な行事や課題などについてふれたいと思います。

私自身2期目の市政運営を託され、第6次長期振興計画後期基本計画の策定に取り組んできました。来月には、外部委員で構成される西之表市振興計画審議会から答申を受ける予定です。策定中の段階ですが、その特徴について簡単に触れさせていただきます。

本市の魅力や価値は、食料の生産・供給地であること、人口は低密度で穏やかな暮らしの場であること、多様な生態系を持つ自然環境があること、種子島としての認知度の高さや本土への時間的距離の短さなどがあげられます。これらの特徴を生かし、資源と人、技術を組み合わせて、小さくてもどこにも負けない、強い

独自性のあるふるさとを創出していきます。それぞれの地域や団体等の得意とする技能を生かし、足りない部分を外部人材が補うといった有機的結びつきにより組織力を強化し、地域の資源を磨き上げ、質の向上を図ることで、稼ぐ力を備えるとともに、魅力ある仕事として働く場の拡大を目指します。

また、受け継がれてきた人の温もり、地の力、縁の力を今一度見直し、多世代が郷土への愛着と生きがいを感じる環境や機会を提供することで、住民の満足度と暮らしやすさの向上を図ります。

島に育てられた私たちが、さらに島の宝を大きく育てるべく、民間活力の導入を図りながら、市民の皆様方とともに、最適な生活空間を創りあげていく所存でございます。

また、これを着実に成し遂げていくためには、計画を推進するエンジン役として市役所がこれまで以上に適切に機能しなければなりません。市役所が有する経営資源の最適化を図りつつ、生産性の向上を目指すべく第6期行財政改革大綱を策定の上、市民から信頼される行政経営を図ってまいります。

次に馬毛島問題についてであります。

去る11月2日、旧馬毛島小中学校跡地の管理作業を実施するに当たり、本市、防衛省及びタストン・エアポート株式会社の三者で、馬毛島において現場視察を実施しました。旧馬毛島小中学校跡地の活用や市道の取扱いなど互いの主張に隔たりがあるものの、それぞれの考えを情報共有できたことに意義があったものと考えています。

また、11月9日には、防衛省から馬毛島の自衛隊施設整備のための仮設プラント設置の入札公告を近日中に実施するとの説明がありました。その2日後の11日に公告が実施されたところです。この仮設プラントは、自衛隊施設の本体工事に直結するものです。馬毛島における米軍空母艦載機離着陸訓練施設と一体である自衛隊施設の整備は決定したわけではありません。現状はあくまでも施設整備が可能かどうか調査の段階だと受け止めております。少なくとも、防衛省においては、各種調査の結果を住民に丁寧に説明した後、施設整備の実施について住民の理解を得て進むべきです。このような地元軽視の姿勢に対しまして、16日には直接私が防衛省に出向き、抗議を行ったところであります。

次に、農業についてであります。

本市の基幹作物であるさつまいもにおいては、サツマイモ基腐

病が昨年度から拡大し、安納いもを中心に本年度も重大な被害をもたらしております。これまで、国・県・関係機関が一体となって、生産者への支援策を行っていますが、引き続き次期作に向けた対策に取り組んでまいります。なお、澱粉原料用さつまいもにつきましては、見込平均反収が昨年実績比3割以上となっておりますが、安納いも等の青果用さつまいもについては、見込平均反収1,000キログラム（昨年実績並み）と例年に比べ昨年同様に大幅な減収となる見込みとなっております。

一方、サトウキビにつきましては、春先の平均気温が高く春植、株出の初期育成は順調で、その後も台風等の大きな気象災害もなかったことから、見込平均反収6,592キログラム（昨年実績比+21.2%）となっております。なお、製糖工場の原料受入を12月6日から開始し、年末年始休暇や増産推進日等を挟んで、来春の4月16日に受入終了予定となるようです。

高齢化による担い手不足という課題もありますが、さつまいもからの転作や夏植え・秋植えの積極的な推進により、増反が進んできており、受託組織のさらなる強化を図るなど、将来を見据えた取組みを進めたいと考えています。

畜産につきましては、枝肉価格及び子牛セリ市価格の相場が回復傾向にあります。直近の11月の種子島家畜市場における本市産子牛平均価格は、67万7千885円で前回10月のセリと比較すると、プラス4万8千403円の増となりました。

また、10月20日に曾於市で開催された第32回鹿児島黒牛産地宣伝販売会において、伊関校区で育った牛がグランドチャンピオン賞を受賞いたしました。

本市産の子牛が肥育素牛（ひいくもとうし）として非常に能力が高いことを全国の購買者に改めてアピールすることができました。このことで、今後の子牛セリ市や来年10月に開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けて明るい話題となりました。

有害鳥獣のシカ対策については、捕獲と防護の両面からの対策を進めており、捕獲頭数については10月末現在で2,191頭となっております。

林業につきましては、市有林における間伐を実施しており、本年度は、およそ7.2haの施業となっております。

水産業の状況ですが、キビナゴ刺し網漁が、昨年度に続き本年



度においても不漁となっております。県内においても同様の状況が続いており、原因もはっきりとしておらず、自然環境の変化等複合的な要因が考えられております。引き続き、関係機関と連携し、情報収集に努めたいと思います。

また、8月中旬に小笠原諸島で発生した海底火山の噴火に伴い、大量の軽石が発生し沖縄や奄美の海岸に漂着した問題で、熊毛海域においては南種子町の南の海域で一部確認はされたものの、今のところ漁業に影響は出ていないということです。種子島漁協を含め関係機関と情報共有しながら、引き続き注視していきたいと考えます。

次に、観光・商工業等の取り組みについて報告いたします。

10月10日に、新型コロナウイルスの影響で延期されていた第52回種子島鉄砲まつりの花火大会を実施いたしました。密による感染リスクを抑えるため、市内5か所での同時刻分散打ち上げを実施し、それぞれの地域で秋の花火を楽しんでいただけたことと思います。

10月23日には、失業者やコロナ禍での就業対策としてテレ

ワークによる在宅ワークを推進するため「家事や育児と両立しながら自分らしく働こう」と題し、「在宅ワーク入門セミナー」を開催しました。テレワークの基礎セミナーを11月から開始し、今後、来年1月までの間に全6回実施してまいります。

11月7日には、種子島火縄銃保存会設立50周年記念の島内外6団体共演による火縄銃大会が、商工フェスタに合わせて実施され、イベントを盛り上げました。

11月13日には、首都圏の島暮らしに関心の高い方を対象として市内の仕事や暮らしの魅力を発信し、就業・移住へつなげるオンラインツアーを実施しました。

それでは、本定例会に提案いたしました議案について御説明をいたします。提案いたしました議案は、報酬等の条例改正議案が3件、市道路線の変更1件、認定1件、西之表市一般会計補正予算など予算関係議案5件の合計10件であります。

主な議案について御説明をいたします。

議案第60号は、農業委員及び農地利用最適化推進委員の農地利用最適化交付金事業において、活動実績に応じた交付金の上限

額が、西之表市報酬及び費用弁償等に関する条例に定めた報酬の加算額の上限を上回るため、条例の一部を改正しようとするもの、議案第61号は、西之表市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。議案第62号は、西之表市国民健康保険条例の一部を改正するものです。議案第63号及び議案第64号は、西之表市道路線の変更及び認定についてであります

議案第65号は、令和3年度西之表市一般会計補正予算(第7号)についてであります。

一般会計補正予算の主なものは、歳入では、国庫支出金において、事業者支援分を含む、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを主に、4千870万8千円、諸収入では、種子島地区広域事務組合や熊毛地区消防組合の前年度精算に係る返納金などを主に3千13万9千円を増額しております。

歳出では、生活保護事業の前年度精算に係る返還金や各種障害者福祉サービスの利用者等が増加した事などを主に民生費を1億3千226万9千円増額しております。

また、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を衛

生費に計上しております。

そのほか、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費縮小や各種事業の執行額確定に伴う減額が主なものとなっています。

議案第66号から第69号は、それぞれの特別会計及び水道事業会計に必要な補正を行おうとするものであります。

なお、人事関係等で後日、議案の追加を予定しております。

議員各位の御審議のほどよろしくお願いいたします。

以上で提案理由の説明といたします。

ありがとうございました。

令和3年11月26日

西之表市長 八板 俊輔